

# 平成30年度 事業報告書

## 公益財団法人 岡山県身体障害者福祉連合会

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

### [総括]

国においては、平成30年4月に障害者総合支援法改正法が施行されるなど障害者福祉施策の充実が図られたが、他方、国等行政機関における障害者雇用の水増し問題が発生し、障害者の行政機関等に対する信頼を大きく損なう結果となった。平成30年7月の西日本豪雨災害においては、倉敷市をはじめ県内各地で甚大な被害が発生したが、関係機関・団体等の支援のもと被災者は復旧・復興の途につきつつある。

こうしたなか、当連合会では、日本身体障害者団体連合会をはじめとする関係団体等との連携のもと障害者施策等に係る情報収集に努め、共生社会の実現に向け関係機関への提言・要望活動を実施した。また、身体障害者相談員活動の活性化を図り、連合会組織の充実強化に務め、会員団体活動の活性化を支援するとともに、関係機関・団体との連携により各種社会参加促進事業を総合的かつ効果的に実施した。さらに、会員団体をはじめ多くの方々のご尽力により中四国身体障害者福祉大会(おかやま大会)を倉敷市で盛会裡に開催し、関係法令や公益性基準、定款等を遵守した適正な法人運営に努めた。

### [重点項目]

#### 1 障害者制度改革に対する対応

国の障害者制度改革の進捗状況等を注視しながら、日本身体障害者団体連合会や中・四国ブロック身体障害者団体連絡協議会などと連携して障害者の権利擁護、就労支援などの情報を収集し、必要な提案活動を行った。

<国等の動向>

- ・「障害者総合支援法改正法」施行(4月)

#### <活動状況>

- ・第63回日本身体障害者福祉大会での政策協議、大会宣言等(6月)
- ・岡山県障害福祉課との意見交換(8月)
- ・自由民主党岡山県議団との懇談(陳情)(11月)

## 2 身体障害者相談員活動の充実と活性化

研修等を通じてピアカウンセリング手法や活動報告書提出の必要性について周知を図るなど、相談員の資質向上及びネットワークづくりに努めた。

- ・岡山県身体障害者相談員協議会役員会(9月)
- ・中・四国ブロック身体障害者相談員研修会(10月)
- ・岡山県身体障害者相談員研修会(12月)

## 3 連合会並びに会員団体組織の充実強化と活動の活性化

賛助会員募集への積極的な呼び掛けや青壮年部及び女性部活動の充実強化を通じて連合会組織の充実強化に努めるとともに、会員団体組織の各種行事等に積極的に参加して活動の活性化を図った。

- ・女性部活動(研修会9月、全体研修会3月)
- ・青壮年部活動(総会7月、交歓会3月)
- ・会員団体の総会・大会等への出席(延べ16回)

## 4 障害者の社会参加促進

障害者の一層の自立と社会参加の促進を図ることができるよう、各種社会参加促進施策を関係団体との連携により総合的かつ効果的に実施した。

- ・岡山県地域生活支援社会参加促進事業(14事業)

## 5 中・四国身体障害者福祉大会(おかやま大会)の開催

会員団体をはじめ多くの方々のご支援、ご協力のもと中・四国身体障害者福祉大会(おかやま大会)を倉敷市で盛会裡に開催し、身体障害者が抱える諸問題をアピールするとともに、障害者の自立と社会参加意識の高揚を図った。

- ・第44回中・四国身体障害者福祉大会(おかやま大会)(11月)

## 6 公益財団法人としての運営

事業の効率的な執行を図るとともに、コンプライアンス意識の徹底を図り、関係法令や公益基準、定款等を遵守した適正な法人運営に努めた。

## 【事業実施状況】

### 1 障害者の日常生活、職業、結婚等に関する相談支援事業(公1事業)

#### (1) 障害者総合相談事業

身体、知的、精神の障害者本人や家族等の関係者を対象に、暮らしや人権に関わる生活全般について常設の相談窓口を設置して相談員が相談に応じた。

- ・一般相談:月～金曜日、9:30～16:30 相談件数 343件
- ・専門相談(弁護士相談):予約制 相談件数 2件

#### (2) 在宅重度身体障害者激励事業

在宅の重度身体障害者の福祉向上を図るため、各市町村の障害者団体の役員等が重度障害者の自宅を訪問して慰問品を直接届け激励するとともに、生活全般の相談に応じた。

- ・NHK歳末たすけあい義援金による慰問品(敷き毛布シート) 436名に配布 総額100万円

#### (3) 駐車禁止除外指定車標章の申請・交付と制度の啓発

下肢、体幹、内部等の障害により歩行困難な障害者が乗車又は運転する車に対して、駐車禁止区域内でも駐車が認められる駐車禁止除外指定車標章の申請受付業務を行った。

- ・新規 5件、更新 164件 計 169件

#### (4) JR ジパング倶楽部の加入申請受付と制度の啓発

障害者がJRの特急券、急行券等の割引を受けるために必要なJRジパング倶楽部特別会員制度のPRや加入申込受付業務を行った。

- ・新規 19件、更新 256件 計 275件

#### (5) 身体障害者相談員研修事業

身体障害者相談員の資質向上を通じて相談活動の促進及び相談援護の充実を図るため、相談員を対象に研修を実施した。

- ・岡山県身体障害者相談員協議会役員会(9月26日、岡山市)
- ・第20回中・四国ブロック身体障害者相談員研修会(10月5日、広島市、参加者 15名)  
「障害者差別解消法の現状と課題について」ほか
- ・岡山県身体障害者相談員研修会(12月12日、岡山市、参加者 150名)  
「地域における身体障害者相談員の役割」ほか

## 2 障害者の生活訓練、指導者養成等社会参加促進事業(公2事業)

### (1) 身体障害者補助犬育成事業

障害者の社会参加を促進するため障害者補助犬を育成し貸与した。

・補助犬貸与 盲導犬 1件、介助犬 1件 (H10年度からの累計 27件)

### (2) オストメイト社会適応訓練事業

ストマ用装具の装着者に対して、装具の使用等家庭や職場生活に必要な指導訓練を行うとともに、社会生活に必要な基本的な事項について相談に応じた。

日本オストミー協会岡山県支部へ再委託

・参加延べ人員 329名 開催回数 20回

### (3) 音声機能障害者発声訓練・指導者養成事業

疾病等により咽喉を摘出し、音声機能を喪失した障害者に対して発声訓練を行い、社会参加の促進を図るとともに、発声訓練に携わる指導者を養成した。

新声会へ再委託

・発声訓練 参加延べ人員 1124名

・一斉指導及び個別指導 40回 移動教室 1回 発声大会 1回

・指導者養成研修 5名参加

### (4) 盲ろう者通訳・介助員養成・派遣事業

盲ろう者のコミュニケーションに必要な様々な伝達手段及び外出支援技能を修得した盲ろう者通訳介助員を養成するとともに、盲ろう者からの要請に応じて派遣した。

岡山盲ろう者友の会へ再委託

・養成講座 10日間(22講座) 受講者数 12名

・派遣事業 派遣対象登録者 16名 利用者 13名 延べ派遣件数 686件

### (5) 盲ろう者向け生活訓練等促進事業

中途盲ろう者に対して自立した日常生活を送ることができるよう、様々なコミュニケーションに関する訓練や日常生活に関する訓練、その他必要な相談、指導を行った。

岡山盲ろう者友の会へ再委託

・実施回数 15回 60.5時間

・受講者数 3名

### (6) パソコンボランティア養成・派遣事業

障害者のパソコン機器等の使用を支援するパソコンボランティアを養成し、障害者からの要請

に応じて派遣した。

・派遣数 7名 延べ 17回

#### (7) 障害者IT利用普及促進事業

障害者の在宅就労やIT利用等の促進を図る総合的なサービス拠点として障害者ITサポートセンターを設置し、IT機器展示コーナーを運営するとともに、IT機器の利用相談等に応じた。

展示・体験コーナー

・見学者数 708名  
・出張展示 真庭市

IT相談

・来所 17件 電話・FAX 27件 出張展示相談 1件

#### (8) パソコン教室開催事業

肢体不自由や重複障害を有する障害者を対象にパソコン教室を開催し、パソコン利用の促進を図った。

##### ①パソコン教室(基礎Ⅰ)

・岡山盲ろう者友の会へ再委託  
開催回数 延べ 12回 受講者数 1名

##### ②パソコン教室(基礎Ⅱ)

・肢体不自由者対象パソコン教室  
開催回数 延べ 12回 受講者数 15名

#### (9) 重度障害者在宅就労促進事業(バーチャル工房おかやま)

在宅重度障害者の情報機器やインターネットを活用した就労指導を行うとともに、企業等からの業務受注、工房利用者への配分、成果品の検収等を行った。

・登録者 15名  
・受注件数 19件(個人 2件、官公庁 7件、団体 10件)  
・業務内容 DTP作業、テープ起こし、データ入力

### 3 障害者の福祉増進及び啓発、広報事業(公3事業)

#### (1) 障害者社会参加推進センターの設置運営

障害者社会参加促進事業の体系的・効果的な実施を図るため、障害者社会参加推進センターを設置し、社会参加推進事業に係る連絡・調整や必要な情報の収集等を行った。

・岡山県障害者社会参加推進協議会(2月13日、岡山市)

## (2) 団体活動育成支援等による障害者福祉増進事業

### ①地域や障害種別の障害者団体の活動の育成、支援

- ・会員団体の総会・大会等への出席(延べ 16回)

### ②青壮年及び女性部活動の支援

- ・青壮年部 総会(7月8日、倉敷市)、交歓会(3月10日、倉敷市)
- ・女性部 研修会(9月29日 津山市)、全体研修会(3月1日 岡山市)

### ③各種行事の開催及び参加

- ・第18回岡山県障害者スポーツ大会(4月28日～7月9日、岡山市ほか、14競技)  
水泳、陸上競技等に係員派遣
- ・第10回中・四国身体障害者野球大会(9月16日、松山市)
- ・岡山県総合社会福祉大会(10月11日、岡山市)
- ・第18回全国障害者スポーツ大会(10月13日～15日、福井県)
- ・岡山県身体障害者スポーツ大会(11月30日、岡山市)
- ・第39回手をつなぐ育成会岡山県大会(12月2日、和気町)
- ・平成30年度耳の日の集い(3月3日、岡山市)

### ④関係団体役員や審議会等委員就任による情報収集と意見発信

#### ア 国及び県レベルの会議等への参画

- ・岡山県社会福祉審議会(4月25日、岡山市)
- ・福祉用具展示・体験コーナー運営委員会(6月25日、岡山市)
- ・福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル改定検討会(7月31日、10月19日、11月1日、11月26日、1月9日、岡山市)
- ・岡山県障害福祉課との意見交換(8月24日、岡山市)
- ・自由民主党岡山県議団との懇談(陳情)(11月14日、岡山市)
- ・岡山県障害者スポーツ協会専門委員会(11月15日、岡山市)
- ・岡山県障害者施策推進審議会・岡山県自立支援協議会・岡山県障害者差別解消支援地域協議会(2月15日 岡山市)
- ・岡山県障害者スポーツ協会理事会(3月15日、岡山市)

#### イ 日本身体障害者団体連合会との連携

- ・日身連理事会(5月25日、12月11日、3月7日、東京都)
- ・日身連評議員会(6月13日、高崎市)

- ・第63回日本身体障害者福祉大会〈政策協議〉(6月13日、高崎市)
- ・第63回日本身体障害者福祉大会(6月14日、高崎市、参加者3名)

#### ウ 中・四国ブロック各身体障害者団体との連携

- ・中・四国ブロック身体障害者団体連絡協議会〈要望事項協議〉(7月25日、倉敷市)
- ・中・四国身体障害者相談員連絡協議会(7月25日 倉敷市)
- ・中・四国ブロック身体障害者相談員研修会(10月5日、広島市)
- ・中・四国身体障害者福祉大会(11月15日、倉敷市)
- ・中・四国身体障害者団体事務局長会議〈課題協議〉(12月13日、山口市)
- ・中・四国ブロック連絡協議会〈事業計画協議〉(1月17日、高知市)

#### エ 他団体等との連携

- ・岡山県社会福祉協議会理事会(6月29日、9月14日、12月14日、3月13日、岡山市)
- ・共同募金オープニングセレモニー(10月1日、岡山市)
- ・障害者週間街頭啓発活動 あいサポートフェスタ2018(11月27日、岡山市)
- ・社会福祉団体等会員会議(1月16日、岡山市)

### (3)機関紙「はばたき」の発行等啓発・広報事業

#### ア 機関紙「はばたき」の発行

- ・機関紙「はばたき」 毎月1300部発行
- ・国・県の障害者施策の動向、当会の事業等について情報提供

#### イ ホームページによる情報提供

- ・当会の組織、事業等に関する情報の発信
- ・行政や関係団体とのリンクによる情報提供

## 4 法人運営

### (1)連合会運営のための会議開催

- ・監事監査(5月16日)
- ・正・副会長会議(2月20日)
- ・理事会(5月23日、2月20日)
- ・評議員会(6月21日、3月15日)
- ・会長表彰審査会(8月28日)
- ・第 44 回中・四国身体障害者等おかやま大会実行委員会(5月23日、10月12日、2月20日)

## 貸借対照表

平成31年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	21,463,618	20,946,514	517,104
現金	70,000	50,000	20,000
普通預金	6,670,896	6,599,490	71,406
定期預金	14,722,722	14,297,024	425,698
未収金	142,000	100,000	42,000
流動資産合計	21,605,618	21,046,514	559,104
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産特定預金	3,823,285	3,823,285	0
基本財産合計	3,823,285	3,823,285	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	5,051,862	4,599,540	452,322
中四国大会準備預金	3,583,525	3,583,525	0
特定資産合計	8,635,387	8,183,065	452,322
(3) その他固定資産			
什器備品	745,051	178,029	567,022
その他固定資産合計	745,051	178,029	567,022
固定資産合計	13,203,723	12,184,379	1,019,344
資産の部合計	34,809,341	33,230,893	1,578,448
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	1,315,971	625,977	689,994
前受金	66,000	50,000	16,000
預り金	85,786	57,396	28,390
流動負債合計	1,467,757	733,373	734,384
2 固定負債			
退職給付引当金	5,051,710	4,599,540	452,170
固定負債合計	5,051,710	4,599,540	452,170
負債の部合計	6,519,467	5,332,913	1,186,554
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	3,800,000	3,800,000	0
指定正味財産合計	3,800,000	3,800,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 3,800,000)	( 3,800,000)	( 0)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	( 23,285)	( 23,285)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 3,583,677)	( 4,010,809)	( △427,132)
正味財産の部合計	28,289,874	27,897,980	391,894
負債及び正味財産合計	34,809,341	33,230,893	1,578,448



## 正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,211	3,211	0
特定資産運用益			
特定資産受取利息	853	1,977	△1,124
受取会費			
正会員受取会費	1,124,000	1,179,000	△55,000
事業収益			
受託事業収益	29,873,032	27,857,951	2,015,081
自主事業収益	2,515,745	2,594,891	△79,146
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	440,000	440,000	0
受取地方公共団体助成金	300,000	300,000	0
受取寄付金			
受取寄付金	1,001,721	693,141	308,580
募金収益	1,500,000	1,500,000	0
賛助会費	155,000	171,000	△16,000
雑収益			
受取利息	4,847	5,664	△817
雑収益	17,226	11,592	5,634
経常収益計	36,935,635	34,758,427	2,177,208
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	12,520,764	12,485,290	35,474
臨時雇賃金	2,520,000	2,520,000	0
退職給付費用	433,772	327,068	106,704
法定福利費	1,873,226	1,965,089	△91,863
工賃	471,547	569,031	△97,484
旅費交通費	702,495	923,547	△221,052
通信運搬費	530,614	490,120	40,494
減価償却費	67,577	46,733	20,844
消耗品費	2,047,374	1,740,523	306,851
印刷製本費	559,818	459,615	100,203
研修費	19,800	42,200	△22,400
賃借料	663,762	679,141	△15,379
諸謝金	356,642	412,150	△55,508
会議費	0	20,129	△20,129
支払負担金	88,000	88,000	0
支払助成金	460,000	460,000	0
委託費	11,955,000	10,001,000	1,954,000
支払手数料	19,022	16,184	2,838
雑費	6,900	17,823	△10,923
管理費			
給料手当	530,876	527,470	3,406
退職給付費用	18,398	13,822	4,576
法定福利費	69,003	83,020	△14,017
福利厚生費	54,238	54,672	△434
会議費	7,702	5,921	1,781
旅費交通費	197,600	232,400	△34,800
通信運搬費	42,536	53,334	△10,798
減価償却費	8,109	5,192	2,917
消耗品費	101,650	15,742	85,908

# 正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
賃借料	49,266	36,681	12,585
諸謝金	29,400	59,400	△30,000
支払負担金	120,000	120,000	0
支払手数料	5,040	7,234	△2,194
雑費	13,610	32,400	△18,790
経常費用計	36,543,741	34,510,931	2,032,810
評価損益等調整前当期経常増減額	391,894	247,496	144,398
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	391,894	247,496	144,398
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	391,894	247,496	144,398
当期一般正味財産増減額	391,894	247,496	144,398
一般正味財産期首残高	24,097,980	23,850,484	247,496
一般正味財産期末残高	24,489,874	24,097,980	391,894
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,800,000	3,800,000	0
指定正味財産期末残高	3,800,000	3,800,000	0
III 正味財産期末残高	28,289,874	27,897,980	391,894